

サステナビリティ事業推進のための 電力事業参入

2017/2/14

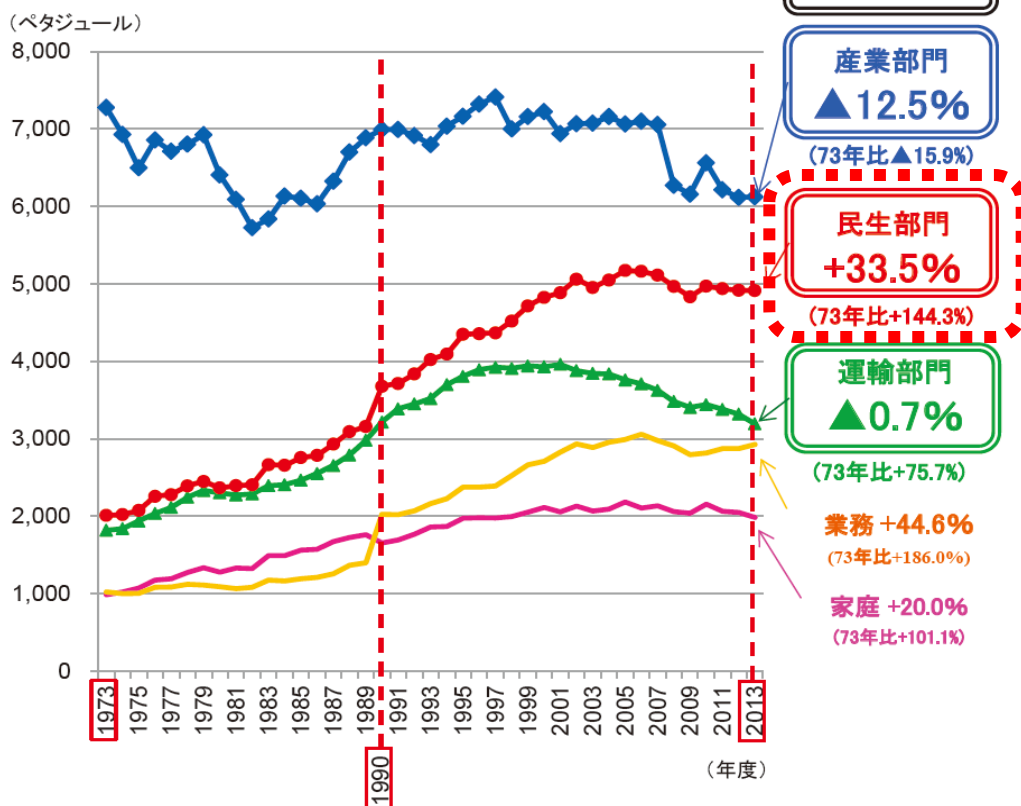
**清水建設株式会社
那須原和良**

エネルギー消費量

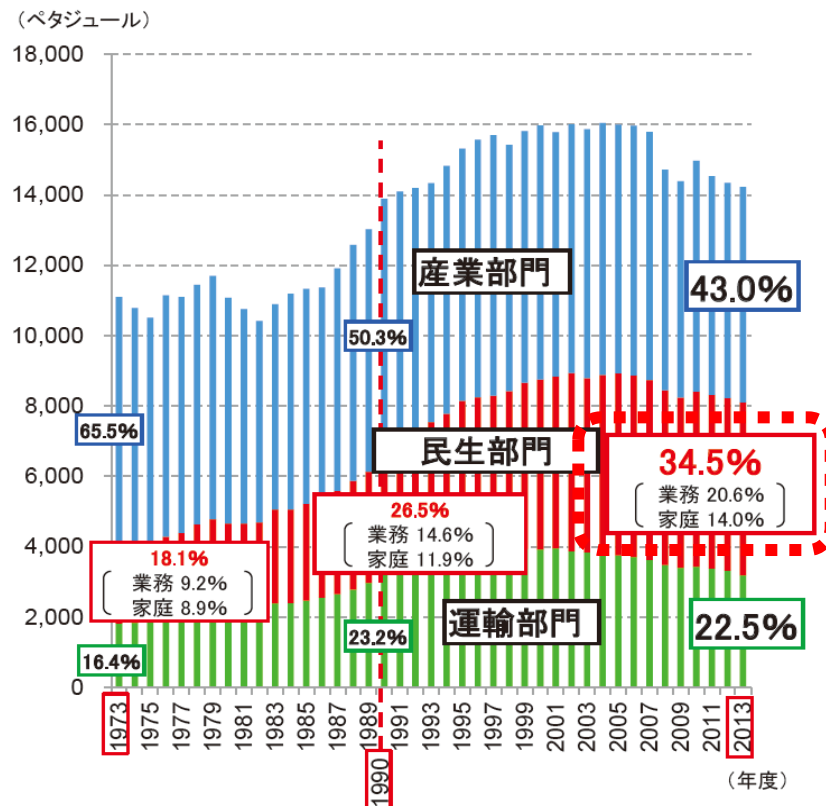
● 民生部門（業務・家庭）のエネルギー消費量のみ大幅に増加

COP21パリ協定の目標 2030年度に2013年度比	全体 民生部門	▲26% ▲40%
--------------------------------	------------	--------------

【最終エネルギー消費の推移】



【シェアの推移】



ZEB実現に向けて

- 省エネ、創エネ、蓄エネ技術のベストミックスが必要
- ZEB実現に向けて、経済性等の課題あり



スマートBEMS: マネジメント技術

建物の環境価値

- 課題解決に向けて、**さらなる方策**も加える

「使用量」に、エネルギーの「原単位」を乗じて、実際の「排出量」となる

	使用量 kWh	×	原単位 t/kWh	=	CO ₂ 排出量 t	
ZEB Ready	0.5	×	1	=	0.5	} 同じ排出量
	0.7	×	0.7	=	0.5	
	0.5	×	0	=	0	原単位「0」 を目指して

電力小売事業参入の狙いと概要

● 狙い

① サステナビリティ事業の推進

CO₂の少ないクリーンな電力の販売

② BSP事業の強化

省エネサービス、施設運営管理受注へ

* BSP事業 (Building Service Provider)
竣工後の施設運営管理サービス事業

● 概要

- ・ **B to B** ビジネス (一般住宅への小売りはしない)
- ・ 2016年度下期からの初弾事業開始
- ・ 2018年度からの本格事業化の **2段階**で事業化

<参考>

登録小売電気事業者 380社(2/1現在)
日本卸電力取引所取引会員 120社(2/1現在)

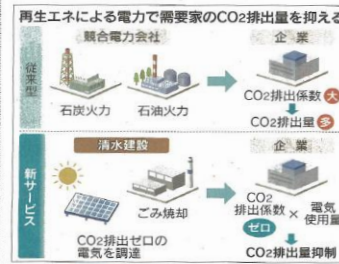
2016年(平成28年)11月11日(金曜日)

清水建設が電力小売り

再生エネを100%に
CO₂削減、パリ協定にらむ

清水建設は再生可能エネルギーによる電力小売事業に参入する。2018年4月にも企業向けに、ごみ焼却・太陽光発電などで得た「再生可能エネルギー」を排出しない電気の供給を始め、20年以内には再生可能エネルギー100%にする計画だ。4日「パリ協定」が発効され、今後企業へのCO₂削減圧力が高まるのをにらみ、再生エネを前面に出して顧客を増やす。

ビル受注の武器に



再生エネによる電力で需要家のCO₂排出量を抑える。清水建設は再生可能エネルギーによる電力小売事業に参入する。2018年4月にも企業向けに、ごみ焼却・太陽光発電などで得た「再生可能エネルギー」を排出しない電気の供給を始め、20年以内には再生可能エネルギー100%にする計画だ。4日「パリ協定」が発効され、今後企業へのCO₂削減圧力が高まるのをにらみ、再生エネを前面に出して顧客を増やす。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。清水建設は再生エネ100%の電力を業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

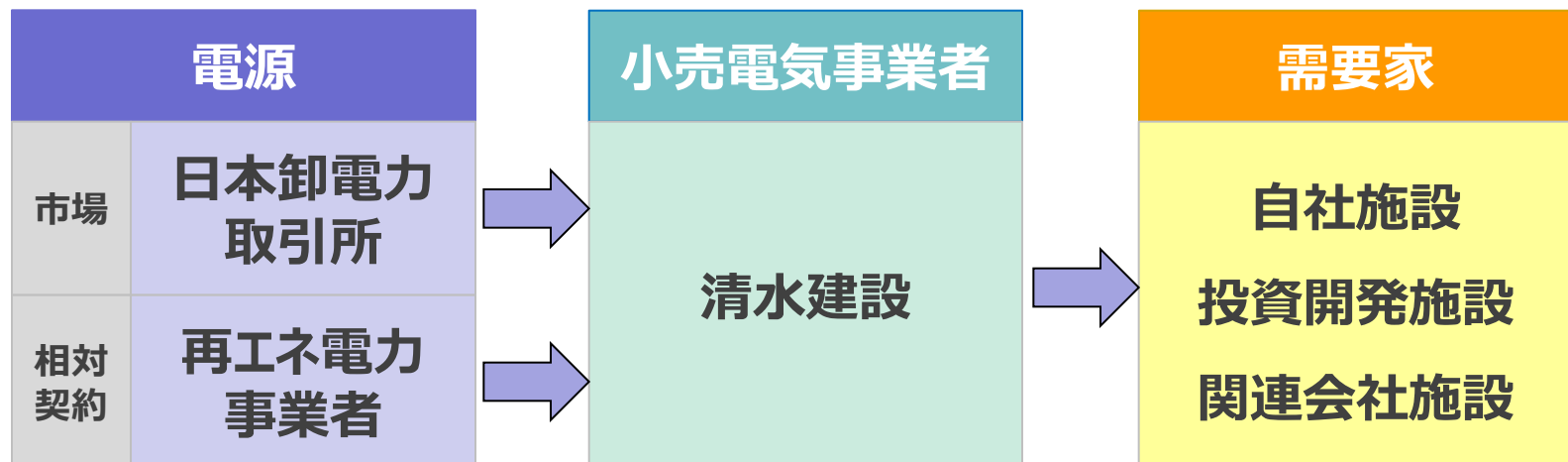
清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

清水建設は再生エネ100%の電力だけを業向けに売る。再生エネ100%の電力は国内初となる。パリ協定の発効で、企業は事業活動のCO₂の排出を抑えられ、排出の大半は再生エネから排出される。

日経新聞
11月11日

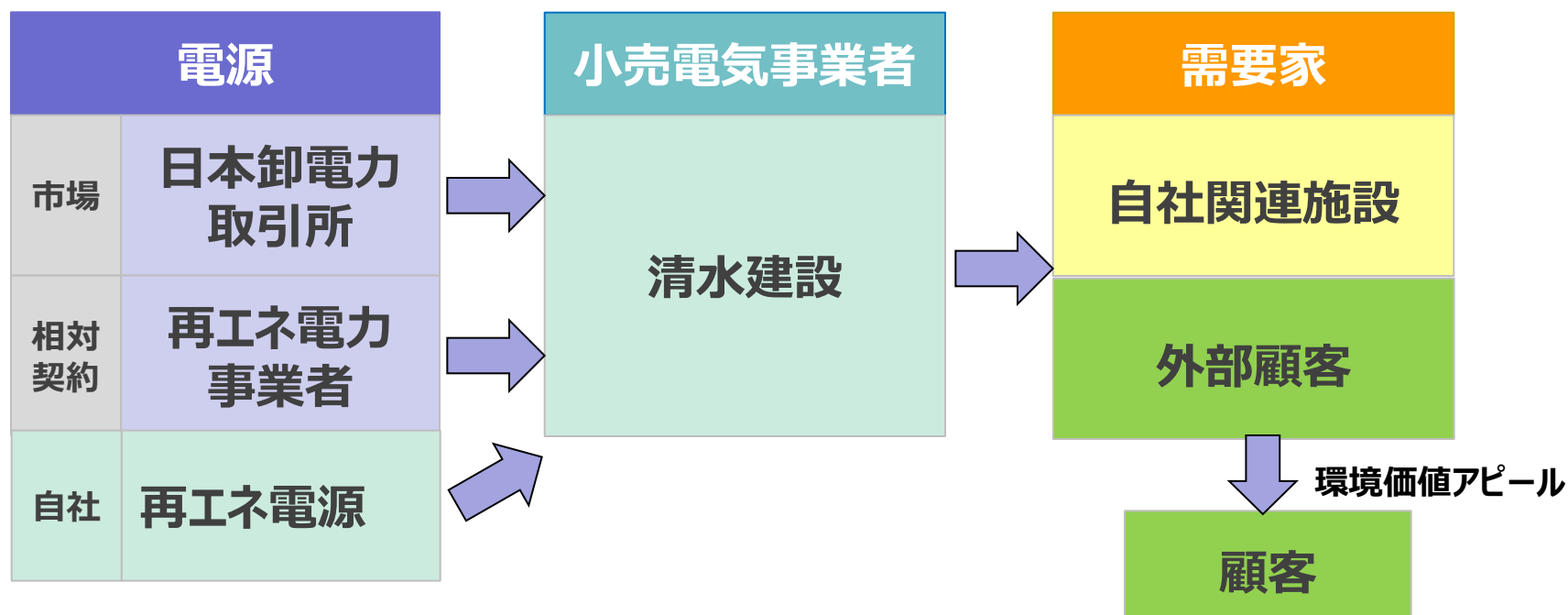
初弾事業（2016年度 下期～）の概要

- 日本卸電力取引所からの電力調達及び相対契約電源を主電源として、
11月15日から自社関連7施設（12月1日から8施設）へ電力を供給
- 電力需給業務のノウハウを蓄積するとともに事業性・市場性を精査・検証
- 事業規模：14Gwh/年、2.8億円/年（全国電力市場は約20兆円/年、東京電力約6兆円）



本格事業化(2018年4月～) 概要

- **BtoBモデル**の電力小売事業を、当社**設計施工のビル**を**主対象**に事業展開
- **環境経営や再生可能エネルギー使用100%等を目指す顧客等**への電力供給を想定し、**再エネ電力事業者や自社再エネ電源**等を加えて事業展開を図る
- さらに、この事業を通じて当社**顧客との一層の関係強化**に努め、契約したビルについては省エネルギーサービス等を提供し**BSP事業の受注**にも結びつける



参考：RE100

87 RE100 companies have made a commitment to go '100% renewable'.





子どもたちに誇れるしごとを。